

秋田県沖合域の水温状況 (平成30年2月)

漁業調査指導船「千秋丸」により2月1～2日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

表 層	「はなはだ低い」～「平年並み」の水温です。
50 m層	「かなり低い」～「やや高い」水温です。
100m層	「かなり低い」～「やや高い」水温です。
200m層	「やや低い」～「はなはだ高い」水温です。
300m層	「平年並み」～「はなはだ高い」水温です。

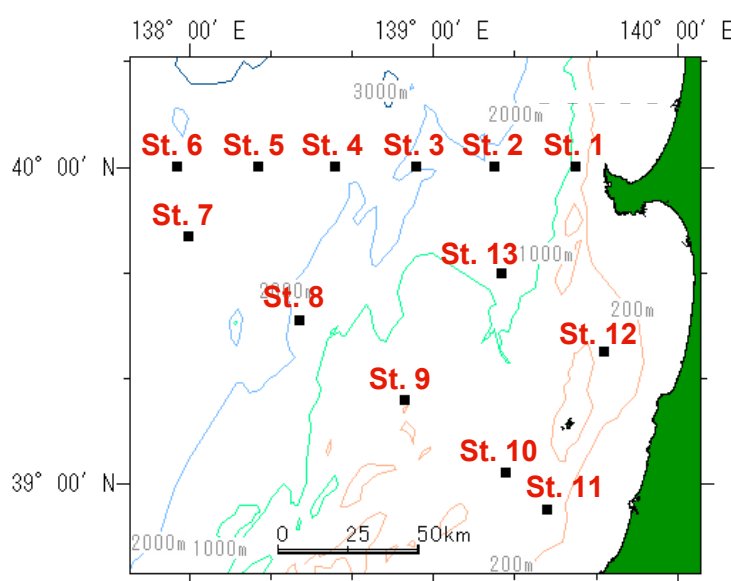


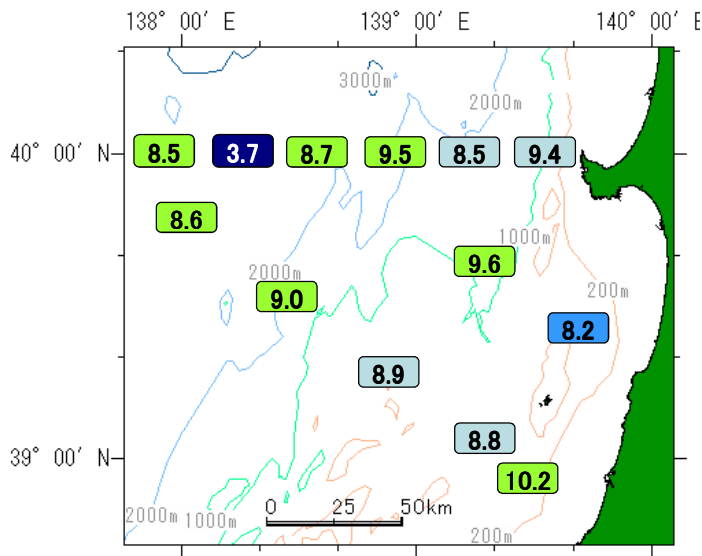
図1 調査船千秋丸による観測定点 (St. 1～13)

表1 水温の評価区分

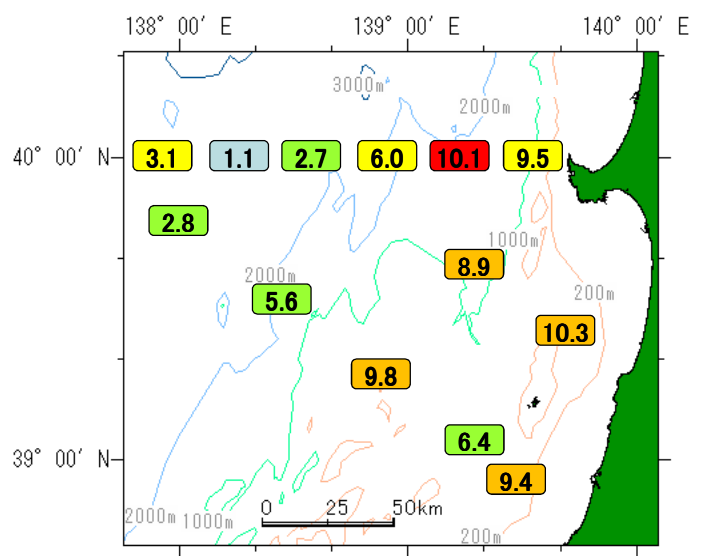
評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率約20年以上に1回)
かなり高い	+130以上200未満	(出現確率約10年に1回)
やや高い	+60以上130未満	(出現確率約4年に1回)
平年並み	±60未満	(出現確率約2年に1回)
やや低い	-60以上130未満	(出現確率約4年に1回)
かなり低い	-130以上200未満	(出現確率約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率約20年以上に1回)

* 偏差 = (観測値 - 平年値) / 平年標準偏差 × 100
平年：1981～2010年の30年間

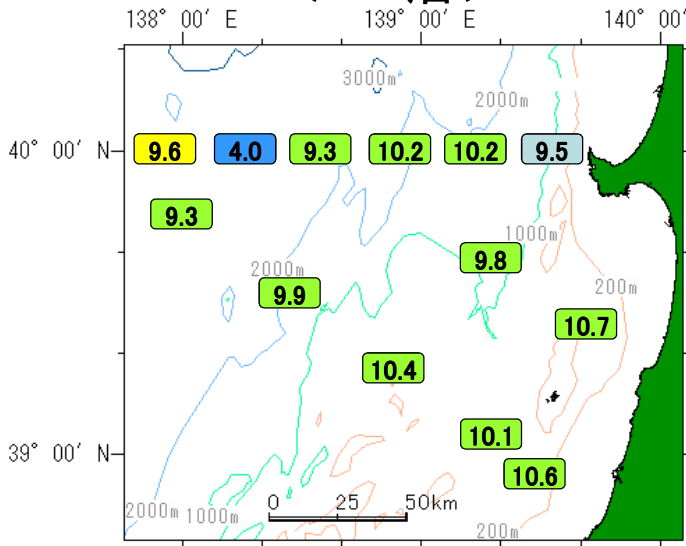
<表層>



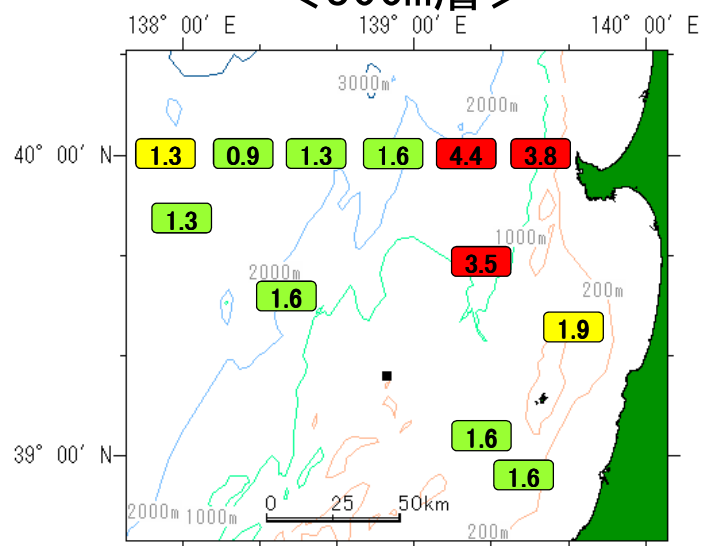
<200m層>



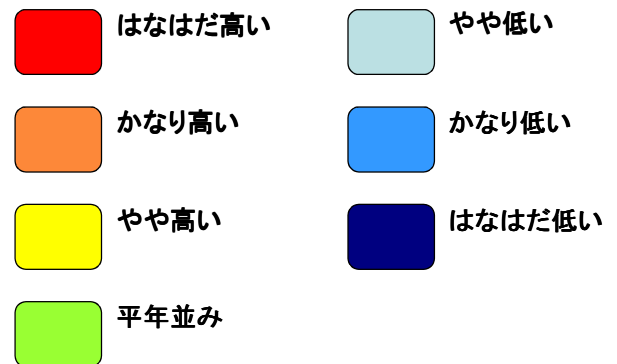
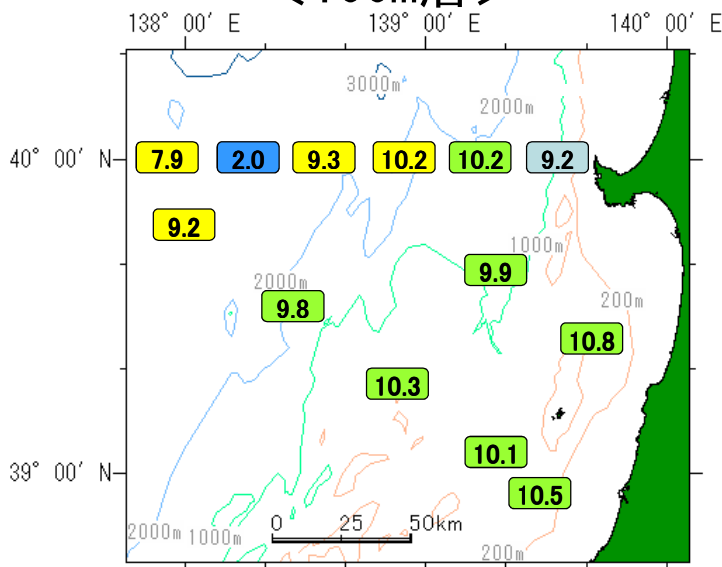
<50m層>



<300m層>



<100m層>



<図2 各層の水溫観測値(℃)と評価>